指定管理者による公の施設の管理運営状況

令和5 (2023) 年度

施設名	栃木県県民の森
施設所管課	環境森林部自然環境課
指定管理者	たかはらの森管理グループ ・栃木県森林組合連合会(法人番号 8060005000668) ・たかはら森林組合(法人番号 1060005004650) ・高原林産株式会社(法人番号1060005004626)
指定期間	令和3 (2021) 年4月1日 ~ 令和8 (2026) 年3月31日

1 施設の概要

施設所在地	矢板市長井2927			
施設の概要	①指定管理者による管理面積 88.0 ha			
	②主要な施設			
	森林学習展示施設(森林展示館、全国育樹祭記念緑地、遊歩道等)、キャンプ施設等			
業務内容	①県民の森の施設の維持管理に関する業務			
	②県民の森の運営に関する業務			
	③上記に附帯する業務			

2 収支の状況

令和5 (2023) 年度

(千円)

	収入			支出	Į Į	
指	指定管理料	62, 700	指	事業費	481	
定	利用料金収入	855	定	管理運営費	29, 340	
管	その他収入*1	666	管	人件費	33, 225	
理			理	その他支出*1	899	
※ 2	合計	64, 221	※ 2	合計	63, 945	
指定管理業務収支差額① 276						
自三	È事業	556	自主	自主事業 202		
自三	主事業収支差額②	354				
収3	支差額 (①+②)	630				
備考(※1 その他収入の主なものを記載)			備考	ś(※1 その他支出の	主なものを記載)	
1	1 栃木県エネルギー価格高騰対策指定管理者支援金			機械等賃借料	692千円	
		378 千円	2	雑費	121千円	

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

令和4 (2022) 年度 (前年度)

(千円)

	収入			支出	
指	指定管理料	62,700	指	事業費	572
定	利用料金収入	1, 223	定	管理運営費	28, 459
管	その他収入*1	2, 999	管	人件費	37, 545
理			理	その他支出*1	788
※ 2	合計	66, 922	※ 2	合計	67, 364
指定管理業務収支差額① ▲442					
自三	· 主事業	1,024	自主	三事業	155
自Ξ	主事業収支差額②	869			
収3	支差額 (①+②)	427			
備者	備考(※1 その他収入の主なものを記載)			* (※1 その他支出の	主なものを記載)
1 栃木県新型コロナウイルス感染症対策指定管理者			1	機械等賃借料	594千円
協力金 1,994 千円		2	雑費	110千円	
2	栃木県エネルギー価格高	騰対策指定管理者支援金			

768 千円

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

3 利用状況

施設名	項目	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度
		(前年度)	
	キャンプ場	1, 329	975
野外活動	セルフガイドハイク	263	125
	オリエンテーリング	329	146
	その他レクリエーション	542	430
	自然観察	423	585
	林業体験学習	544	497
森林教育活動	森の恵み(ネイチャークラフト等)	870	973
	バーベキュー	217	178
	ネイチャークッキング	19	0
イベント(「森の集い」等)		227	210
	来訪者	10, 365	9, 319
森林展示館	視察・研修	441	262
	その他	531	1,045

4 サービス向上に向けた取組

- ・ 全職員参加の全体ミーティングを月一回開催し、施設管理、当月実施行事等の情報共有を行い 共通認識を持って施設の管理運営、また KY 活動にも取り組んだ。
- ・ 「県民の森」の魅力を広く発信するため、広報パンフレットを県内の市町村役場や観光施設等に 送付するとともに、ホームページ・ブログや SNS により日々変化する自然情報の提供を行った。
- ・ 各種イベント・キャンプ場予約受付を土日祝日関係なく終日実施し、利用者が申込みやすい環境 を整えた。
- ・ キャンプ場の営業日を4/28~9/30までとし、7/15~8/31以外については土日祝日及びそれらの前日を営業日とするなど期開延長を継続して行った。
- ・ 年間を通じた定番イベント「森の集い」の企画を 12 回のうち 11 回実施し、その内 1 回は天候の 状況により内容を変更して実施した。

避難誘導マニュアル・危機管理対策マニュアルに基づき、職員に内容を周知し、防災訓練等を実施するなど、県民の森利用者の安全・安心のため、迅速な対応ができるように備えた。

- ・ コロナウイルス感染症対策については、、森林展示館・マロニエ昆虫館入り口にアルコール消毒液の設置を継続して行った。
- ・ 案内地図看板3か所(マロニエ公園、育樹祭駐車場、キャンプ場駐車場)の修繕を行った。
- ・ キャンプ場について、安全、安心して利用いただけるように場内の危険木等の伐採を実施し、オープンに向けて環境を整えた。

5 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法

- 1 来館者からの意見聴取(自由意見記入方式)
- (1)森林展示館回答数 625 件 「森林展示館窓口相談内容集計」
- (2) マロニエ昆虫館回答数0件「森林展示館窓口相談内容集計」
- 2 キャンプ場利用者に対するアンケート
 - (1)回答数及び評価点
 - ア 回答数 18件
 - イ 評価点 4.3点(5点満点)

大変満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不 満
(5点)	(4点)	(3点)	(2点)	(1点)
7名	9名	2名	0名	0名
(38.9%)	(50.0%)	(11.1%)	(0%)	(0%)

- 3 県民の森主催イベント「森の集い」参加者に対するアンケート
 - (1)回答数及び評価点
 - ア 回答数 133 件
 - イ 評価点 4.8点(5点満点)

大変満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不 満
(5点)	(4点)	(3点)	(2点)	(1点)
116名	14 名	1名	2名	0名
(87.2%)	(10.5%)	(0.8%)	(1.5%)	(0%)

116名 14名 1名 2名 0名 (87.2%) (10.5%) (0.8%) (1.5%) (0%)	(5点)	(4点)	(3点)	(2点)	(1点)
(87. 2%) (10. 5%) (0. 8%) (1. 5%) (0%)	116名	14 名	1名	2名	0名
	(87.2%)	(10.5%)	(0.8%)	(1.5%)	(0%)

主な利用者意見(苦情・要望)

対応

- 1 森林展示館
 - 特になし。
- 2 マロニエ昆虫館
 - 特になし。
- 3 キャンプ場利用者
 - 荷物の運搬路を整備してほしい。
 - 持込サイトを広くしてほしい。
 - サイトを整地してほしい。
 - ・ リヤカー等施設の装備品を充実してほしい。
 - ヤマビルが多い。
- 4 「森の集い」参加者
- 特になし。

- ・利用者サービスの観点から対策を検討する。
- ・利用者サービスの観点から対策を検討する。
- ・利用者サービスの観点から対策を検討する。
- ・利用者サービスの観点から対策を検討する。
- ・利用者サービスの観点から対応を検討する。

主な利用者意見 (積極的評価)

- 1 森林展示館
 - ・「展示館で自然の大切さを学べた。」「展示が充実している。」などの意見。
- 2 マロニエ昆虫館
 - 特になし。
- 3 キャンプ場
 - ・「価格が安いのに施設が充実している。」などの意見。
 - ・「クマやヒル対策の看板や対策が見られ、安心して利用できる。」などの意見。

6 指定管理者による自己評価

成果のあった取組・積極的に取り組んだ事項・利用者満足度向上への取組

- 県民の森主催の体験イベント「森の集い」(年12回開催)については、11回運営でき、県民の森 の魅力を伝えるとともに、自然環境や森林・林業を守り育てる重要性への理解を深めていただくこと ができた。
- 毎月1回グループ構成団体メンバーによる運営委員会を開催し、自主事業の進捗及び施設の管理状 況について検討を行い、グループ構成団体メンバーが共通認識のもと管理、運営を実施した。
- 1月に所内でコンプライアンス研修会を開き、所員の意識向上を図った。
- 矢板市泉地区交流協議会に参加(Happy, Happo プロジェクト)し県民の森の魅力について広く一般 の方々に周知した。
- コロナウイルス感染症対策を徹底し、森林展示館・マロニエ昆虫館入口にアルコール消毒を継続し て設置した。
- 次年度は、県民の森開設50周年のため、記念イベント開催に向け、山の駅・森の駅と合同企画会議 を立ち上げ、6年度に連携してイベントを開催することで合意を得られた。
- ヒル対策について、キャンプ場だけでなく宮川遊歩道、オリエンテーションコースなどヒルの温床 となる落ち葉掻きをし、薬剤散布を早めに行い次年度の運営に向け準備した。

キャンプ場の利用者サービス向上に向けた取組

- キャンプ場の営業日を4/28~9/30までとし、7/15~8/31以外については土日祝日及びそれらの前 日を営業日とするなど、期開延長を継続して行った。
- キャンプ場内へのクマ対策として、周囲に獣害ネットを新設し、既存の獣害ネットについては一部 修繕を行った。
- 令和6年度の営業に向け、インターネット予約やキャッシュレス決済に対応できる環境を整えた。

今後改善・工夫したい事項

- ・ 快適に「県民の森」を利用していただけるようにサービスの向上に努め、「親切」「丁寧」を常 に心がけ対応できるよう接遇に力を入れていく。
- ・ 施設管理・自主事業の実施など職員と利用者が直接対面する機会が多いため、利用者に失礼のないよう、また利用者の問い合わせに的確に回答できるよう各種研修を実施し、職員のスキルアップを図り、利用者のサービス向上につなげていく。
- ・ キャンプ場における荷物運搬路の整備(舗装)を引き続き実施し、お客様の利便性の向上につなげていく。
- ・ 施設に設置されているサイン (案内板) 等が経年劣化で見えにくくなっており、利用者に不便をおかけする状況になっていることから、これらに優先順位をつけ継続的に修繕していく。
- ・ 施設・設備については老朽化が顕在化していることから、日常の巡視を強化するなど、事故の発生 を未然に防ぐとともに、迅速な修繕・補修を実施する。
- ・ 利用者の苦情・要望等についてはスタッフ間で必ず共有するとともに、グループとして対応した事項を各施設に掲示し、利用者に対応状況がわかるようにする。

7 所管課室による評価

項目		評価の内容	確認内容・所見等	評価
1. 住民の	1	住民の平等利用が確保されたか。	イベント、キャンプ施設等の受付は先	
平等利用の			着順となっており、平等利用が確保され	В
確保			ている。	
	2	使用許可に関する権限が適正に行使		
		されたか。		
	3	高齢者、障害者等に対する配慮はな	高齢者、障害者等専用の駐車スペース	
		されたか。また、平等利用が確保で	が確保されている等、適切な配慮がなさ	
		きない場合の対応は適切か。	れている。特に高齢者が多いイベントに	В
			ついては、事前に職員がシミュレーショ	
			ンし安全配慮を強化している。	
2. 施設の	1	施設の設置目的に沿った業務実施が	仕様書、協定書及び事業計画に基づき	В
効用の最大		なされたか。	適切に運営している。	D
限発揮	2	施設の利用促進、県民サービスの向	新規イベントの企画や閑散期における	
		上が図られたか。	利用料金の割引等、利用者の増加に努め	
			ている。	
			また、キャンプ場の受付において、イ	A
			ンターネット予約やキャッシュレス決済	
			に対応できる環境を整えるなど、積極的	
	_		に利用者サービスの向上に努めている。	
	3	利用者満足度を把握し、満足度の向	施設利用者に対するアンケート調査及	
		上が図られたか。	びイベント参加者に対するアンケートの	
			実施により利用者の意見を把握し、適切	В
			に対応することで満足度の向上に努めて	
			いる。	
	4	利用者からの意見、苦情に対して適	利用者からの口頭又はアンケート調査	
		切な対応がなされたか。	における意見及び苦情に対しては、迅速	В
			かつ適切に対応している。	
	(5)	施設、設備、備品の維持管理や安全	警備・清掃・機器の保守点検・修繕等	
		管理は適切になされたか。	を積極的かつ適正に行い、安全・安心・	В
			快適な施設運営を行っている。	
	6	指定管理者の創意工夫により業務改	ホームページ及びSNSをこまめに更	
		善等がなされたか。	新し、旬な情報を日々掲載しているなど	В
			、効果的な広報活動を行っている。	
•	•		1	

3. 管理を	1	組織体制は適正か。	適切に施設の管理運営を行うことがで	В
安定的に行			きる組織体制である。	
う物的人的 基礎	2	収支は適正でバランスがとれたものか。	適切に執行されている。	В
	3	経費の縮減に取り組まれてきたか。	夏場の電気使用量削減等、経費縮減に 努めている。	В
	4	人材育成は適切に実施されている か。	職員は積極的に研修に参加しており、 人材育成は適切に実施されている。	В
	5	危機管理体制 (事故、緊急時の対応) は確保されているか。	「危機管理対策マニュアル」に基づく 体制が適切に整備されており、職員は緊 急講習等の研修に参加するなど緊急時の 管理能力の向上に取り組んでいる。	В
	6	県や関係機関との連携体制は確保されているか。	事故や災害時の連絡体制は十分に確保 されている。 また、通常の施設管理運営においても、 自然環境課に適宜報告を行うほか、関係 各課とも連絡を取り、連携を図っている。	В
4. 個人情 報保護	1	個人情報の保護についての措置が計 画どおり実施されているか。	適切な対応がなされている。	В
	2	情報公開は適切になされているか。	文書等の開示に関する規定を制定して いるが、開示請求はなかった。	В
5. その他	1	施設の特性にふさわしい自己評価が なされているか。	施設利用の状況及びアンケート調査等 から利用者ニーズを把握し、毎月自己評 価を行っている。	В
	2	自主事業が計画どおりに実施されて いるか。	事業計画書どおり実施されている。	В
	3	イベント等を実施している場合は、地域との連携が図られているか。	地元関係団体・近隣施設等と協力しイ ベントを開催するなど、連携が図られて いる。	В
	4	環境への配慮(騒音・光害対策、ご み削減等)がなされているか。	ごみの縮減、節電等に努めるなど環境 に配慮した管理が行われている。	В
	(5)	その他管理運営上の特記事項		

総合的な評価

- ・ 施設の管理及び運営については、県民の森の設置目的を理解し適切に実施されている。
- ・ 利用者アンケート調査では幅広い年齢層から高い評価を受けており、指定管理者の親切・丁寧 な取組が、施設利用者の満足度につながっていると認められる。
- ・ 令和5年度は、キャンプ場の利用率向上に向けた取り組みとして、インターネット予約やキャッシュレス決済に対応できる環境を整えるなど、利用率向上に向けた取り組みを実施した。
- ・ 今後とも、利用者目線に沿った取組を実施することにより、更なる利用者数の増加を期待する。
- ※「評価」欄には、以下の指標により判定した結果を記載すること。
 - A: 事業計画に対して優れた取組となっている。
 - B: 事業計画どおりの取組となっている。
 - C:事業計画に対して劣る取組となっている。
 - D:事業計画に対して著しく劣る取組となっている。